

令和7年度

事務事業評価表(令和6年度の実績評価)

記入年月日  
令和7年4月11日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for 'ふるさと応援寄附金事業' and '健全な財政運営の推進'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要(事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the 'ふるさと応援寄附金' program.

Table with 5 columns: ①手段, ④活動指標, ⑤対象指標, ⑥成果指標. Includes data for '寄附金の受領に伴う事務処理' and 'ふるさとに対する思いを實現化'.

Table with 7 columns: (3) 投入量(事業費)の推移. Includes sub-tables for '事業費の内訳' and '事業費の内訳' comparing 06 and 07 fiscal years.

Table with 4 columns: (4) 当該年度の実施内容. Includes sub-tables for '07年度の事業内容' and '08年度の事業内容'.

事務事業名	ふるさと応援寄附金事業	事務事業No.	60501000055	所属課	ヤマザクラ課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成20年4月に公布された「地方税法等の一部を改正する法律」により、個人住民税の寄附金税制が大幅に拡充される形で導入され、全国的に実施されている。 令和2年度よりヤマザクラ課に事務移管されてから、委託事業者の変更、ポータルサイトの拡充等取り組み、事業拡充した。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 市の財源確保や特産品PRにきわめて有効な事業であり、寄附額の向上を求められている。 また、返礼品提供事業者からも売上向上に直結する事業であることから、拡充を求められている。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <p>寄附金は貴重な財源であり、市の事業遂行の一助となっている。</p>
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <p>全国的にほぼ全ての市町村で行われている事務事業である。</p>
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <p>返礼品の見直し及びプロモーションの充実により、寄附金額の増加が期待できる。</p>
有効性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 <p>自主財源を増加させるため必要な事業である。 また、地域事業者の販路となっているため重要である。</p>
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <p>類似事業がない。</p>
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <p>返礼品費用や委託料、手数料等は寄附額に応じて増加するため、削減の余地がない。 但し、配送やポータルサイトなど、現行事業者以外の事業者のサービス内容や経費は引き続き探っていく。</p>
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である <p>市内事業者に広く返礼品提案の声かけをしているため公平である。 また、寄付者に対して相当の返礼品を贈呈しているため適正である。</p>

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 令和6年度は、PR強化策としてポータルサイトを15サイトに拡充および返礼品数を約900品から1050品に返礼品を充実させたことで寄附額が約5億2千万円に増加した。 一方、経費基準の厳格化など、ふるさと納税制度の見直しが頻繁に行われるため、ルール遵守には迅速な運用見直しが必要となる。常に総務省の情報に注意し事前に対処することが求められる。																								
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 和5年10月からの経費基準厳格化など、ふるさと納税制度の見直しが行われることがあるが、ルールを遵守するため迅速な運用見直しが求められている。常に、総務省からの情報には注意し、前もって対処できることは進めていく必要がある。																										
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input type="checkbox"/> ①																										

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B <p>A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出</p>		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>	
--	--	---	--